

じゅんじょに気をつけて読もう（２年）

「すみれとあり」

●指導目標

動植物の生態に興味を持ちながら，順序に気をつけて文章を正しく読む。

- すみれの生長の特徴について時間的な順序，事柄の順序に気をつけて内容の大体を読む。

【読む】

- すみれの種が様々な場所に運ばれる理由を，多様な表現方法を使い，順序よく説明する。

【話す，聞く】

●教材について

本教材は「じゅんじょに気をつけて読もう」の第一教材であり，この学年としての初めての説明文である。すみれとありは児童にとって，身近でよく目にする生き物である。学習の中で，児童はその共存関係に驚きを感じたり，新たに発見したりと興味をもって読み進めることができる。また，この学習をとおして生まれた「おもしろいな。」「すごいな。」という感動を「どうしてかな。」「なぜだろう。」という疑問の方向に導くことで，生き物の生態についての知的好奇心を育み，説明的文章において「問題をもって読む」という読みの基本的な態度につながっていくと考える。さらに，目的をもち，楽しんで読書することへの広がりも期待される。

学習にあたっては，以下のことに留意し，指導にあたることとする。

（１）感想を話し合う場の設定

『「びっくり」（発見），「はてな」（疑問）をさがそう』という，児童にとってとらえやすい言葉をキーワードに教材文を読み，感想を自由に話し合う場を設ける。生き物の生態に興味をもち，また，話し合いの中から新たな疑問も生まれ，意欲をもって読み進めることにつながっていくのではないかと考える。

（２）音読を生かす

文末まではっきりと読むことをとおして，説明文の文体に慣れさせるとともに，説明文の特徴である「問いかけ」と「答え」の文を正確におさえることにつなげたい。

（３）順序よく読むことの意識づけ

写真や掛け図を本文と対応させながら，すみれが種をとばす様子や，ありが種を運ぶ様子を時間的な順序，事柄の順序を意識して読み取るようにさせたい。

（４）学習を広げる場の設定

『「すみれとあり」のひみつをはかせになってせつめいしよう』をめあてに，「まず」「つぎに」「そして」など，順序を表す言葉を使いながら，読み取ったことを発表する機会を意図的に設定したい。発表会では，学習したことをもとに，５つの「はかせグループ」が，寸劇，紙芝居，ペープサートなど，多様な表現方法を用いながら，すみれとありの共存関係を説明する。相手意識をもたせることが，大事な言葉をしっかりとおさえることや，順序に気をつけて話すことの大切さに気づき，話し方を工夫することにもつながると思われる。また，聞き手として，「しんさいんグループ」が説明の内容について評価し，感想を話し合うことで，説明する時の大切なポイントについても２年生なりにつかむことができるのではないかと考える。さらに劇やペープサートを用いて説明することが，話したい事柄をよりわかりやすく伝える手段の一つになるということにも気づかせ，さまざまな活動に広がっていくようにしていきたい。

● 学習指導計画（全 13 時間）

展開・時		過程	学習活動	評価規準および方法
一 次	1 時	つかむ	○「すみれとあり」を読んで、興味をもったことをノートに書いたり、話し合ったりする。 ・びっくり（発見）、はてな（疑問）のキーワードに沿って感想をもつ。	関 ：すみれやありの話題に興味をもち、発表しようとしている。（発言）
	2 時		○「すみれとあり」を大きく 4 つの部分に分けて読み、学習計画を立てる。 ・小見出しをつける ・学習問題を作る。	読 ：全文を読み、四つの部分に分け、学習問題を作っている。（ノート）
二 次	3 時	まなぶ	○ ～ 段落を読んで、すみれの様子について話し合う。 ・写真と本文を対応させながら読む。	読 ：すみれの様子を写真や自分の経験と重ね合わせながら読んでいる。（発言）
	4・5 時		○すみれが種を飛ばす様子に気がつけて読み、順序よく説明する。（～ 段落）	読 ：順序を考えながら、すみれが種を飛ばす様子を読み取り、メモしている。（メモ） 話聞 ：種を飛ばす順序を正しくとらえて説明している。（発表）
	6・7 時		○ありが種を運ぶ様子に気がつけて読み、順序よく説明する。（～ 段落）	読 ：順序を考えながら、ありが種を運ぶ様子を読み取っている。（観察） 言 ：時間的な順序を表す語句に注意して文章を読み、まとめている。（ワークシート）
	8 時		○「すみれとあり」の課題文に対する解答文を読み取る。（～ 段落）	読 ：課題文に対する解答文を見つけている。（ワークシート）
三 次	9・10 11 時	ひろげる	○すみれの種がさまざまな場所に運ばれる理由を多様な表現方法を使って友達に説明する準備をする。	関 ：説明する方法を選び、楽しんで道具を作ろうとしている。（観察）
	12 時 13 時 （本時）		○すみれの種がさまざまな場所に運ばれる理由を多様な表現方法を使って説明する。	話聞 ：紙芝居やペープサートを使って順序よく説明している。（説明の様子、説明の内容）

● 本時の展開（本時 13 / 13）

目標

- ・すみれの種がさまざまな場所に運ばれる理由を，多様な表現方法を使って説明することができる。

● 展開例

学習活動	指導上の留意点	評価
1 めあてを確認する 「すみれとあり」のひみつを，はかせになって せつめいしよう。 ○ はかせグループ，しんさいんグループのめあてを確かめる。 はかせ：じゅんじょに気をつけて，大事なことをきちんとつたえよう しんさいん：せつめいのしかたのよいところを見つけよう。		
2 グループごとに選んだ表現方法を使い，「すみれの種がさまざまな場所に運ばれる理由」を説明し合う。 ○ 紙芝居 ○ 寸劇 ○ ペープサートなど	○ はかせグループ，しんさいんグループのペアを確認する。 ○ 発表の際は，順序よく，大事な言葉をきちんと伝えるというポイントをおさえる。	話聞：伝えたい事柄を順序よく，大切な言葉をおさえて説明している。 （説明の様子，内容）
3 はかせグループの説明を聞いて，よくわかったところをメッセージカード（評価カード）に記入する。 ○ すみれの種がとび出す様子 ○ ありが種を運ぶ様子 ○ すみれがいろいろな場所に咲くわけ	○ 話し方の技能のみではなく，説明の内容のよさに気づかせる。 ○ 発表の際のポイントに着目させる。	話聞：ペアグループの友達の説明を聞いて，感想をもち，評価カードに記入している。 （評価カード，内容）
4 メッセージカードを発表し，感想を伝え合う。 ○ ペアグループどうし	○ ペアグループどうし，評価カードをメッセージカードとして贈り合うようにする。	関：説明のしかたのよい点を発見し，伝えようとしている。 （評価カード，発表内容）
5 今日の学習の感想を発表する。	○ 自分自身の発表を振り返り，感想を話すようにする。	

●メッセージカード（評価カード）

はん はかせグループへ	
さすが！はかせ！ここがよくわかったよ！！ (よくわかったところに○をつけます。)	
すみれのたねがとび出すまでのようす	()
ありがすみれのたねをはこぶようす	()
すみれがいろいろなばしょにさくわけ	()
ひとことかんそう	
	ベアグループ しんさいん
	はんより

●発表会で使用した紙芝居，ペープサート

